

『JALカーボンオフセット』で温暖化を防ぐ



気候変動に具体的な対策を

気候変動や異常気象が深刻さを増す昨今、二酸化炭素(CO₂)をはじめとした温室効果ガスの削減が大きな課題となっています。

日本は2018年CO₂排出量(※)世界5位。一人あたり排出量は年間8.5tで世界4位。企業や個人のCO₂削減努力が欠かせません。

JALはフライトで発生するCO₂について、①省燃費機材への更新、②飛行ルートや運航方法、正確な積載量の算出といった運航ごとの工夫、③SAF(代替航空燃料)の開発促進と活用を通して、2050年までにCO₂排出量実質ゼロ(ネット・ゼロエミッション)を目指しています。

地球全体で温暖化を防止

地球温暖化を防止するには、こうした企業努力や、個人のCO₂排出量削減努力が必要です。しかし、それでも削減が困難な部分についてはどうしたらよいのでしょうか。現在「カーボンオフセット」という取り組みが、欧州を中心に活発になっています。植林、森林管理、再生可能エネルギーや、高効率な設備の導入といった温室効果ガス排出削減・吸収促進活動に投資することで、排出したCO₂を埋め合わせ(オフ

セット)するという取り組みです。

オフセットされた温室効果ガスは、決められたルールで数値化され、「クレジット」という形で市場取引が可能になります。

JALカーボンオフセット

JALは自社のCO₂排出削減に取り組むだけでなく、ご搭乗のお客さまにご活用いただけるカーボンオフセットのシステムを、2009年より取り入れてきました。

このシステムで削減されたCO₂は、JALグループではなく、お客さま個人、または企業や団体のCO₂排出削減量となります。

『JALカーボンオフセット』のWebサイトで搭乗区間などを選んでいただくと、おおよそのCO₂排出量と、カーボンオフセット料金が算出されます。この金額をお支払いいただくことで、JALが選定した国内外の植林や森林管理活動などに投資される仕組みです。

2022年1月には、よりわかりやすく使いやすい仕組みをつくるため、ノルウェーを本拠とするCHOOOSE社と提携し、システムを一新しました。日本国内で作られたカーボンオフセットクレジットである「J-クレジット」も投資先に含まれています。

まずはお気軽にWebサイトにアクセスし、どのような活動に投資されているのか、ご確認ください。豊かな地球を次世代につなぐため、JALグループはこれからも、お客さまとともに歩んでまいります。

*全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)より(出典:EDMC/エネルギー・経済統計要覧 2021年版)

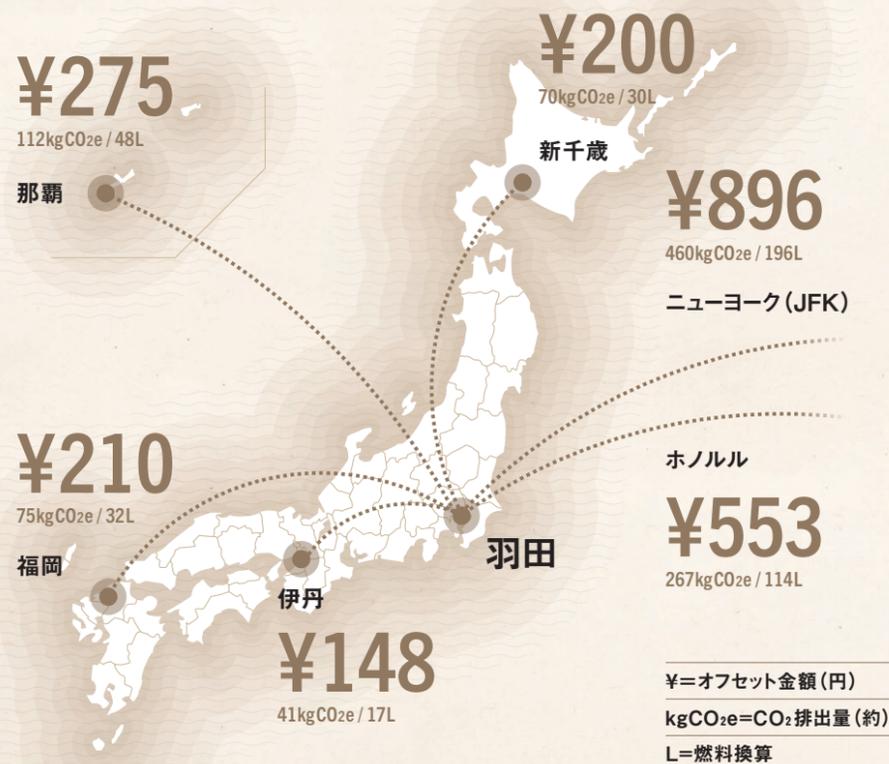
今回のテーマに該当する目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

東京(羽田)から各地へのカーボンオフセット料金



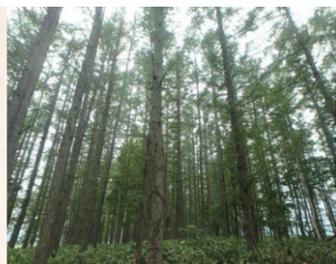
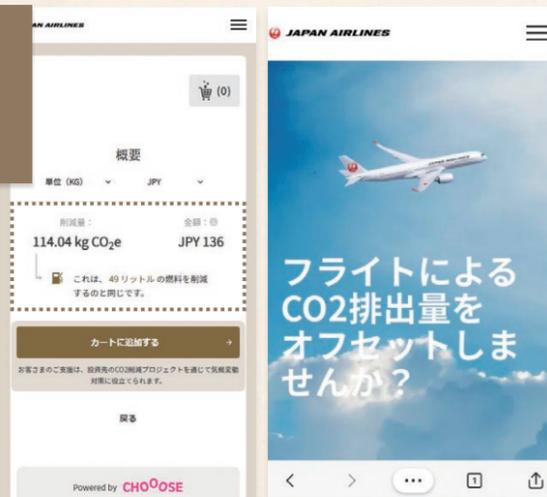
『JALカーボンオフセット』でできること

まずはWebサイトにアクセス!



ご搭乗いただいた区間を選ぶと、CO₂排出量とオフセット料金が算出されます

『JALカーボンオフセット』はスマートフォンやパソコンでご利用いただけます。



Case Study

北海道 美深町における 森林吸収プロジェクト

北海道北部の美深町は自然美で知られる地域。町の約86%に当たる1,000ha以上が森林で覆われています。美深町の森林管理・吸収プロジェクトは、J-クレジット制度の一環として、認定・モニタリングされています。

J-クレジット制度とは、適切な森林管理や省エネルギー設備の導入などで削減・吸収したCO₂等を「クレジット」として国(経済産業省・環境省・農林水産省)が認証する制度のこと。

『JALカーボンオフセット』を通して、美深町の森林吸収プロジェクトが促進されます。